

はじめに

本県の商業を取り巻く状況は、車社会の定着、郊外への大型商業施設の増加、さらにはインターネットの普及などにより大きく変化しています。

一方、消費者の価値観も一様でなく、その時々の一必要性に基づき、また、ライフスタイルに合わせて多種多様な商品を求めて、様々な店舗を選び分けるようになっており、複雑化しています。

こうした商業環境の変化と消費者の購買行動の変化を明らかにするため、本県では昭和43年以降、消費者購買動向調査を実施し、消費者が買い物をする場所、利用する店舗とその理由などを調査してまいりました。今回の調査では、それに加えて、商店街の利用頻度や利用する理由・利用しない理由など、消費者の商店街に対する意識について明らかにしています。

本報告書が今後の地域商業活性化の基礎資料として、各種行政施策はもとより、商業者、商工団体及び関係機関において幅広く御活用いただけることを期待しております。

終わりに、この調査の実施にあたり、格別の御理解、御協力をいただきました関係の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成25年3月

千葉県商工労働部

部長 佐藤 忠信